**第1課 教会はキリストのからだです 2020.1.12**

◎ **賛美** : 韓日245番　◎ **使徒信条**

◎ **アイスブレイキング**　周りの誰かが苦しみに遭ったり、病にかかったことで心を痛めたことがあったならば、その経験を分かち合ってください。

◎ **みことばの中へと**　テーマのみことば

また、神は、いっさいのものをキリストの足の下に従わせ、いっさいのものの上に立つかしらであるキリストを、教会にお与えになりました。教会はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです。（エペソ1:22-23）

**みことばを広げよう**

**教会、神様の子供たちの集まり**イエス様が昇天された後、五旬節の日に聖霊様が臨まれることで教会が誕生しました。教会はイエス様を救い主と信じて神様の子供になった人々の集まりです。教会は体系的な組織を構成することもあり、美しい建物を持つこともあります。しかし教会の本質は組織や建物以前に、神様の子供たちの集まりです。言い換えれば“あなたは、生ける神の御子キリストです。”(マタイ16：16)だと告白し、救われた人々の集まった共同体がまさに教会です。

教会を成した神様の子供たちは一つの心で神様を“アバ、父”と呼び仕えます(ローマ8：15)。ひいてはイエス様が再び来られてこの地に神様の国を完成される日を一つの心で望みます(ローマ8：23)。そして教会として集まった神様の子供たちをこのような信仰で導かれるお方が聖霊様であられます(ローマ8：26)。従って教会の全ての聖徒たちは聖霊様の導きに従って一つとなって神様を父と呼び、礼拝し、イエス様が再び来られて万物を回復される日を望まなければなりません。

Q :教会の本質は何でしょうか？

A : イエス様を救い主と信じ、神様の子供となった人々の集まり。

**教会、キリストを頭とする体**教会はキリストを頭とする体です(エペソ1：22-23)。従って教会は頭であるキリストに従順しなければならず、キリストの導きを受けなければなりません。

教会がキリストの体であるならば、教会の全ての聖徒たちはその体の器官です(ローマ12：5)。実際私たちの体の器官が、それぞれ役割があるように、神様はキリストの体の器官である人々にそれぞれ役割を与えられました(Ⅰコリント12：18)。ですから全ての聖徒たちは自分に任された場所で教会に仕えなければなりません。しかし仕える場所に軽重はありません。私たち体の全ての器官が尊いように、聖徒に任された全ての仕えの場所は尊いのです(Ⅰコリント12：21-24)。

様々な器官が一つの体に属しているように、教会の全ての聖徒は一つです(Ⅰコリント12：20)。一つの器官が栄光を受けると、すべての器官が栄光を受け、一つの器官が苦しみにあうと、すべての器官が苦しみます(Ⅰコリント12：26)。したがって私たちは一つの体に属している兄弟姉妹のために祈らなければなりません。兄弟姉妹に幸せなことが起きたならば、共に喜び、不幸なことが起きたなら共に泣かなければなりません。神様はこのように教会が一つになった姿を喜ばれます。

Q :教会を人の身体に例えるならばイエス様と私たちはそれぞれ何でしょうか？

A :イエス様は頭であり、私たちは体の器官です。

**教会、神様が統治される集まり**イエス様が再び来られるとこの地に神様の国が完全に臨みます。言い換えればイエス様が再臨されるとサタンが縛り上げられ、イエス様の統治がこの地に完全に成されます。しかしこのような神様の統治がイエス様の再臨以降にだけ成されるのではありません。私たちはイエス様が再臨される前にもこの地で神様が臨在される教会を通して神様の統治を経験することができます。

神様が統治される集まりである教会を私たちは次のように特徴づけることができます。一つ目、教会は聖なる住まいです(エペソ2：22)。聖なる住まいである教会で生徒たちは聖なる神様に出会い、聖なる聖霊によって充満に満たされる経験をします。二つ目に、教会は“真理の柱また土台”です(Ⅰテモテ3：15)。すなわち教会は有限で不完全な世の知識ではなく、神様の真理のみことばが宣言される集まりです。三つ目に教会は黄泉の権勢が勝つことのできない集まりです(マタイ16：18)。神様はイエス様が再び来られる時まで教会を悪しき権勢から保護されるでしょう。

また神様は神様が統治される集まりである教会を通して世に神様の統治が成されることを願われます。教会は全地に神様の統治が臨むように最善を尽くして世を愛し、仕えなければなりません。

Q : 神様が統治される集まりである教会はどのような特徴がありますか？

A : 聖なる住まい、真理の柱と土台、黄泉の権勢が勝つことのできない集まり。

**◎ 暮らしの中へ**

1. 教会は神様お一方を“アバ、父”と呼ぶ家族の共同体です。従って教会を構成する聖徒たちは互いを家族のように愛し、尊く接しなければなりません。あなたが教会で家族から受けるほどの温かい慰めと愛を受けた経験があるならば分かち合ってください。

-キム執事さんは数年前に交通事故に遭い、病院に一か月間入院していました。当時の夫は出勤をしなければならず、子供たちは学校に行かなければならず、ほとんどの時間を不便な体で病院に一人で残っていなければなりませんでした。ですが感謝なことに区域のメンバーたちが折々、病院に訪ねてきて看護をし、話し相手にもなってくれながらキム執事さんを助けてくれました。そして教会に行くことのできないキム執事さんのために、教区長の牧師先生が週に一度は病院に訪問し礼拝を導いてくれました。キム執事さんはその時、教区長の牧師先生と区域のメンバーたちから受けた温かい愛を今も忘れることができません。

2. 教会の全ての聖徒たちは一つの体に属している器官です。ですから誰かが栄光を受けると全てが栄光を受け、誰かが苦しみを受けるとすべてが苦しみます。区域員すべてが互いの近況を分かち合いながら誰かに幸せなことがあるならば共に喜び、誰かに解決しなければならない問題があるならば共に痛みに共感し祈る時間を持ってください。

**◎ 決断と祈り**

**決断の告白**

· 信じる者たちと共に集まり礼拝することに力を尽くします。

· 幸せなことを経験した聖徒と共に喜び、悲しむ聖徒と共に泣きます。

· 聖霊様の働きが教会に充満に臨むように祈りましょう。

**声を出して祈りましょう**

祈りの課題を分かち合い、今日のみことばを考えて伝道対象者のために声に出して祈りましょう。

**今日の祈り**

神様、私たちに信仰の共同体を与えてくださったことに感謝いたします。共に集まり神様を礼拝することに力を尽くし聖霊様が充満に臨まれる教会になるようにいつでも祈ります。全聖徒をキリストを体とする各器官として召された主よ、互いに愛し合い、尊重する私たちとなるように助けてください。共に喜び共に泣く教会、そして区域になるようにしてください。イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。

**◎ 主の祈り**

関連聖句

•こうして教会は、ユダヤ、ガリラヤ、サマリヤの全地にわたり築き上げられて平安を保ち、主を恐れかしこみ、聖霊に励まされて前進し続けたので、信者の数がふえて行った。(使徒の働き 9章31節)

•かっこうの良い器官にはその必要がありません。しかし神は、劣ったところをことさらに尊んで、からだをこのように調和させてくださったのです。それは、からだの中に分裂がなく、各部分が互いにいたわり合うためです。もし一つの部分が苦しめば、すべての部分がともに苦しみ、もし一つの部分が尊ばれれば、すべての部分がともに喜ぶのです。あなたがたはキリストのからだであって、ひとりひとりは各器官なのです。(第一コリント12章24~27節)